【令和４年度　入学式　式辞】

温かな日差しの中，校庭には生命力みなぎる草木が芽生え，春の息吹を感じさせる今日の良き日。

１５０名の新入生のみなさん，ご入学おめでとうございます。みなさんの入学を歓迎いたします。

今日から中学生になったみなさんは，入学の喜びと新しく始まる中学校生活への夢や希望で胸がいっぱいのことと思います。なかにはほんの少し，新しい生活への不安があるかもしれません。でも，心配することはありません。中学校には，２，３年生の先輩や先生，そして，スクールカウンセラーやソーシャルワーカーなど，みなさんがわからないことやできないこと，困っていることなどを親切に助けてくれる人がたくさんいます。誰にでも，分からないことやできないこと，困りごとなど，一人では解決できないことはあります。遠慮なく助けを求めてください。そして，今年創立７６年を迎える柏中の歴史と伝統の中で，本校の教育目標でもある『よりよい社会を築く人となるために必要な「知性」と「徳性」を備えた人間性豊かな生徒』へと，一歩一歩着実に成長していくことを期待しています。

今日は，学校教育目標の中で本校が求めている「知性」と「徳性」についてお話したいと思います。

最初に「知性」ですが，これは物事を知るという単に知識を身につけるだけではなく，身につけた知識をもとに考えて，どうしたらよいのかを判断できるようになる知恵のことを言っています。知識を知恵へと高めるためには，授業をはじめとする諸活動で，旺盛な好奇心をもって，“どんなことでもやってみる”，“どんなことにも挑戦してみる”，そういった積極的な姿勢が必要です。また，一人で頑張るだけでなく，他の人と相談したり一緒に取り組んだりして，他の人の知恵も借りながら，よりよく成し遂げることで一層知性に磨きがかかります。しかし，物事に積極的に取り組むことや難しいことに挑戦することはとても勇気が必要ですし，苦労や失敗して恥ずかしい思いをすることもありますが，それを乗り越えたときにはじめて実力がつきます。積極的に行動してよりよく生きるための「知性」を身につけていきましょう。

次に，「徳性」ですが，これは道徳心のことです。道徳心と言っても様々ありますが，特に，よりよい社会の中では，人と人との関りは欠かせません。仲間と良好なコミュニケーションをとりながら協力して物事を成し遂げていく「協調

性」，そして，相手の立場や気持ちを考えて行動する「思いやり」の心をもつことは，みんなが幸せに生活するための基本となる姿勢です。また，私たちの生活の中にはいたるところに人生の分かれ道が設定されています。一方は楽な道やあきらめの道で，人を怠惰にする道です。もう一方は，我慢が要る道や挑戦する道で，人を成長させる道です。自分のわがままや衝動で楽な方へと流されることなく，自己をコントロールする強さをもって自分を高めていってほしいと思います。仲間を大切にするとともに，自分を厳しく律しながら中学校生活を送りましょう。

保護者の皆様，お子様のご入学，誠におめでとうございます。本日より，大切なお子様を本校で責任を持ってお預かりいたします。子どもたちが向上心をもって元気に登校し，学校生活に満足して下校できるように，本校の全職員が最善を尽くしてまいります。中学生の時期は心身の成長が著しい一方，多感な時期でもあることから，気持ちが不安定になることもあります。これからの三年間には，保護者の皆様には，お子様の大きな成長の喜びもあれば，困難なこともあるはずです。そのときこそ家庭と学校が手を取り合って乗り越えていきたいと思います。心配な点などがございましたら，遠慮なさらずにご相談くださいますようお願いいたします。学校と家庭が密に連携し，大人同士が信頼関係をつくり，お子様の健全な成長を支えていきたいと思います。どうぞ，ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

それでは，新入生のみなさん，今日から三年間の中学校生活が始まります。みなさんが生き生きと活動し，自らの能力を最大限に伸ばすことができるように学校や保護者や地域のみんなで応援していきます。柏中学校の新しい歴史と伝統を築く主役として，活躍することを期待しています。

令和４年４月８日

柏市立柏中学校長　逆井俊彦